



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

KANAZAWA YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN 920-0998

<http://www.ys-chubu.jp/saigaways/>

国際会長主題	「言葉より行動を」 “Talk Less, Do More”
スローガン	「今すぐやろう！」 “Do it Now”
アジア地域会長主題	「未来を始めよう、今すぐに」 “Start Future Now”
スローガン	「ひとつのアジア、世界はひとつ」 “One Asia, One World”
西日本区理事主題	「響き合い、ともに歩む」 “To walk together, echoing each other”
スローガン	「こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆく」
中部部長主題	「“将来を見つめたワイズ活動！”を今やってみよう！」
金沢犀川クラブ会長主題	「活力に満ちたワイズライフを！」 “Vitalize Our Lives at the Y's Men's Club !”
会長：澤瀬 諭，副会長・会計：川村孝治，書記・直前会長：北 肇夫	

今月の聖句：主がわたしを使わされたのは、捕らわれている人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げ、圧迫されている人を自由にし、主の恵みの年を告げるためである。

ルカによる福音書 4章18節第3句

2015年2月強調月間

TOF・CS・FF

身近なボランティア、献金にご協力をお願いします

渡壁十郎地域奉仕・環境事業主任（長浜クラブ）

<p>☆☆☆2月新春特別例会案内☆☆☆</p> <p>日時：2月7日(土)～8日(日)、初日 16:00 集合、開会 17:00、開宴 18:30、翌朝食後は自由。</p> <p>会場：辰口温泉 “まつぎき”</p> <p>会費：16,000円+飲物代(会員はフード分も必要)</p> <p>準備：三谷ワイズ</p> <p>***プログラム***</p> <p>司会：平口ワイズ</p> <p>開会・点鐘：澤瀬会長(金沢)</p> <p>ワイズソング：一同</p> <p>今月の聖句：司会者</p> <p>ゲスト紹介：司会者</p> <p>今月のハッピーバスデイ：澤瀬会長</p> <p>川村メット(20日)、三谷ワイズ(25日)・メット(14日)</p> <p>食前の感謝：竹中ワイズ</p> <p>—— 会 食 ——</p> <p>卓話：「第33回九州部会参加記 ～天草キリシタン歴史探訪～」平口ワイズ</p> <p>事業委員会報告：各委員</p> <p>ニコニコタイム：北ワイズ</p> <p>閉会点鐘：澤瀬会長</p> <p>*例会に使用済み切手、アル缶、ワイズ用布製品をご持参下さい。</p>	<p>☆☆☆12月例会報告☆☆☆</p> <p>[第一例会]新春フルート演奏の夕べ、1月22日(木)19:00～21:00、金沢白鳥路ホテル、フルート演奏：村野訓之氏、ピアノ伴奏：村野真由美氏、参加者：日置深夫・小澤 昇(ゲスト)、北ワイズ・澤瀬ワイズ・澤瀬メット・竹中ワイズ・竹中メット・平口ワイズ・平口メット、三谷ワイズ。</p> <p>[第二例会]1月8日(木)19:00～21:00、竹中チャペル、参加者：北・澤瀬・竹中・平口。</p> <p>第4回金沢YMCA創立70周年記念準備委員会 1月19日(月)19:00～21:00、金沢YMCA事務所。</p> <p>今月の聖句について イスが故郷のナザレの会堂で聖書を朗読する際、父ヤコブの巻物を開いて目に留まった箇所の一部。イスは、「この聖書の言葉は、今日、あなたがたが耳にしたとき、実現した」と話し始められた(21節)。この預言に記された「主がわたしを使わされた」の「わたし」とは自分のことだと、「オマの子」イェスご自身が言われたのだから、故郷の人々が驚くのも無理はない。イスが言われた「預言者は、自分の故郷では歓迎されない」(24節)は、諺としてよく引用される。(平口)</p> <p>3月の当番 司会：北、準備：澤瀬</p>
---	---

当クラブ	1月出席者	1月出席率	BFポイント	ニコニコタイム
正会員 5名	ワイズ 5名	83%	前月繰越切手 2,865g	前月累計 49,646円
広義会員 0名	メネット 3名		1月分切手 87g	1月 7,400円
功労会員 1名	ビジター 0名	メーカー 0名	今年度累計	
	ゲスト 4名		切手 2,952g	
			現金 0円	
合計 6名	12名	83%		累計 57,046円

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

◆ 1月第一例会に参加して◆
～新春フルーツ演奏の夕べ～

竹中 丈晴

今年初めての第一例会は、金沢白鳥路ホテルにて「新春フルーツ演奏の夕べ」と銘打ち、白山市のフルーツ奏者・村野訓之氏と奥様でピアニストの村野真由美さんをお招きして行われた。実は、村野氏は私の20年来のフルーツ師匠であることから、ささやかなクラブ例会での演奏を快く引き受けて下さったのである。

演奏は解説を交えながら「天使のセレナーデ」、「愛のあいさつ」、「アヴェマリア」、「青春の輝き」、「ハナミズキ」、



「瑠璃色の地球」、「ラルゴ」と7曲続き、最後のアンコールではジャズ「イツォンリー ア ペパームーン」というようにいろん

なジャンルの曲が演奏され、日頃、先生のクラシック曲演奏しか聞くことのない私でさえ、とても新鮮に感じた。

たまに私の素人演奏を聴いて下さったことのある会員諸兄には、プロの演奏家による目の前で演奏を大いに堪能していただけたことと思う。



◆ ながまち ふれあいフェスティバル2014 ◆

Yサ・ユース事業委員長 澤瀬 諭

11月30日(日)、恒例の“ながまち ふれあいフェスティバル2014”が「かがやけ 未来に ながまちフェスタ!」のテーマのもと、模擬店や展示・体験コーナーなどを設けて開催された。金沢 YMCA(金沢クラブ・金沢犀川クラブ共同)として参加した私たちは、従来のパネル展示に加えて、新しい試みとして平口ワズ提供のパソコン・ディスプレイによるスライドショーで日頃の活動を紹介した。

当日は小春日和で多くの市民が訪れ、元メンバーの手作り白山手もみぜんまいや障害者福祉施設サービスひろびろ作業所の手作りクッキーも完売することができた。ご協力いただいた市民の皆様に感謝。



◆ 地中海クルージング体験記(3) ◆
—イタリアのチヴィタヴェッキア港～カナリア諸島—

平口 哲夫

2014年3月27日(木)13:00(日本時間 21:00、バルセロナ入港。ブリテン2014年7月号の「体験記」に掲載した写真のごとく、モンジェイクの丘からクルージング船MSCファンタジアの全体を写すことができました。この丘は1992年バルセロナ・オリンピックの会場になったことから、関連施設も観光の対象になっています。

市内観光の目玉はなんといってもサグラダ・ファミリア(聖家族教会)。この教会は1882年に着工され、現在も工事が進められており、ビル工事に使われる重機が塔の上にくっつか設置されていました。設計者がガウディ没後100年の2026年を目指して、当初よりも完成予定を早めているとのことですが、それにしても気の長い取り組みに驚かされます。

観光後、船に戻り、18:00カサブランカに向けて出航。



◆ “ご縁”と“摂理”(10) ◆

平口 哲夫

アウシュビッツ強制収容所におけるユダヤ人虐殺をめぐる神義論の脈絡で、バーガーが辿り着いたのは、ユダヤ人哲学者ハンス・ヨナスの試論「アウシュビッツ以後の神の概念」でした。ヨナスは「神の善意と神の全能の両方をそのまま信じることはできない」が、「神の善意を否定することは考えられない」ので、「神の全能を何らかの仕方で諦めなければならない」と考えます。そのためにヨナスが提示するのは、以前から存在する二つの考え方、「苦しむ神」と「成りつつある神」です。

この二つのうち、「成りつつある神」は「聖書の神の概念と真っ向から矛盾」するのに対し、「苦しむ神」は「聖書の各所に現れる神の言動とも繋がる」ように思われることから、バーガーも海野氏も、この「苦しむ神」に思いを寄せています。海野氏は、「なぜ、神には、苦しまなければならないような力の限界があったのか」という問いにはヨナスもバーガーも口ごもっているが、「それ以外の論理的可能性は考えられない」と述べています。

(つづく)

《 金沢 YMCA のホームページ 》

<http://www.ys-chubu.jp/kanazawaymca/>